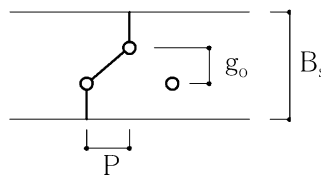
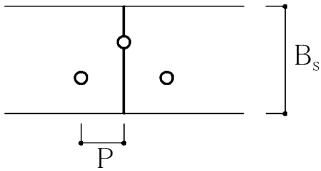
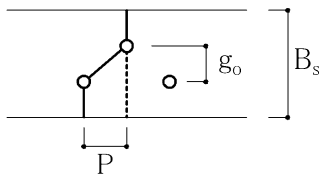


正誤表

c 千鳥配置の場合



(Case1) $P > 1.5g_o$ の時
 $B_{es} = 2(B_s - d_a)$

(Case2) $0.5g_o \leq P \leq 1.5g_o$ の時
 $B_{es} = 2\{B_s - (2.5 - P/g_o)d_a\}$

$B_{es} = 2\{B_s - (2.5 - P/g_o) d_a\}$

誤

正

(Case3) $P < 0.5g_o$ の時
 $B_{es} = 2(B_s - 2d_a)$

③ M_{fu3} 梁フランジのはしめけ破断で決まる最大曲げ耐力

$${}_j M_{fu3} = \Sigma \ell \cdot t_f \cdot F_u \cdot d_b$$

$\Sigma \ell$: 総はしめけ評価長さ

t_f : フランジ板厚

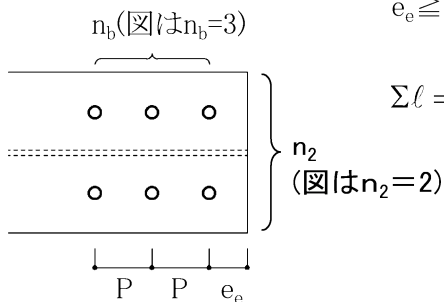
F_u : 母材引張り強さ

d_b : 上下フランジの板厚中心間距離

a. 1列配置、2列配置の場合

$e_e < 0.5P$ 又は $e_e > 2.0P$ の時は、 $P = e_e = \min(P, e_e)$ とする。

$e_e \geq 12t_f$ の時は、 $e_e = 12t_f$ と読み替える。



$$\Sigma \ell = n_2 \{(n_b - 1)P + e_e\}$$

n_b : フランジ継手のボルト列数

n_2 : フランジ継手のボルト行数

P : ピッチ

e_e : 梁フランジのはしめき距離